



# セミナー 修復的司法にアートへの視点を加える？

## 困難な状況におけるサークル・プロセスの有効活用

日時：2011年2月18日(金) 18:30～20:30(開場18:00)

場所：津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス 津田ホール会議室T101・102 下記地図参照

講師：シンシア・ラパス(アーティスト/修復的アートアドバイザー)

本セミナーは、修復的司法(restorative justice)の実践や研究に携わる人、被害者や加害者またはその家族への支援活動を行う人々、教育、福祉、ソーシャルワーク、司法の現場や研究に関わる人、人間の関係性に関わる職やボランティアに携わる人々を対象とした、インタラクティブな勉強会です。米国のミネソタ州の少年院や教育現場など、多様な現場で修復的司法とアートの融合を実践しているシンシア・ラパス氏を講師として迎え、サークル・プロセスと表現の実例を紹介いただき、簡単なエクササイズを交えながら修復的司法とアートの可能性を考えたいと思います。

### 〈スケジュール〉

- 18:00～18:20 サークルとイントロダクション
- 18:20～18:40 サークル・プロセスの活用と有効性
- 18:40～19:50 アートエクササイズ
- 19:50～20:00 休憩
- 20:00～20:30 おわりに & Q&A

司会進行：飯上香 (津田塾大学准教授)

(講演者シンシア・ラパスさん Cynthia Respect プロフィール)

米国ミネアポリスを拠点とするアーティスト、かつ修復的司法のコンサルタントのシンシア・ラパスは、ミネソタ州セントポール市にあるハムリン大学で人文学修士号を取得。1999年にサークル・プロセスをアートに取り入れ始め、孤立した人々のエンパワメントや関係性の修復を目的に、少年院や教育現場から企業までと多様な現場でワークショップを重ねてきた。自らLD(学習障がい)の加害を受けて経験し、社会からの無理解や差別に苦しむ、アートとサークルの出会いで人生が大きく変わったという体験を持つ。ミネソタ州教育省修復的司法課のコーディネーター、およびインテンシティー現代美術館(ICMOCA)の理事も務める。今回、津田塾大学ソーシャル・メディア・センターの招待で来日し、東京、大阪で、多様な背景を持つ人々を対象としたワークショップやセミナーを行う予定。

参加費無料、返送選択あり、エクササイズで使う画材なども主催側で用意しています。

参加と申込：25名まで(先着順)。事前申込が必要です。メール([cmccf\\_office@tsuda.ac.jp](mailto:cmccf_office@tsuda.ac.jp))もしくはFax(042-342-5126)で、「2/18修復的司法とアートセミナー参加希望」と明記の上、名前、所属(肩書)、連絡先(メールアドレス、電話番号)をお知らせください。募集人数に達したところで締め切らせていただきます。当日は絵の具を使いますので、多少汚れても構わない服装でお越しください。また、活動の記録として写真撮影や録音などを行う予定ですので、ご了承ください。

津田ホール 151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-19-12  
 千駄ヶ谷駅下車、改札出て向かい側、地下鉄大江戸線で  
 国立競技場駅下車、A4出口側、<http://tsuda.ac.jp/0202/0202/index.htm>

問合せ先：042-342-5126(tel/fax) メール：[cmccf\\_office@tsuda.ac.jp](mailto:cmccf_office@tsuda.ac.jp)  
 主催：津田塾大学ソーシャル・メディア・センター  
 平成21年度 文部科学省 大学教育・学生支援推進事業(テーマA)  
 大学教育推進プログラム「協働」によるメディア教育の展開  
 共催：特定非営利活動法人被害者加害者対話の会運営センター 特定非営利活動法人out of frame

